

## 2020年オフィシャルソフトボール ルール改正点

(公財)日本ソフトボール協会

19年頁	R-SEC	2019年オフィシャル ルール	20年頁	R-SEC	2020年オフィシャル ルール
9	1-2項	<b>アピールプレイ APPEAL PLAY</b> アピールプレイは次の8つ場合である。 (7)不正再出場したとき	9	1-2項	<b>アピールプレイ APPEAL PLAY</b> アピールプレイは次の8つ場合である。 (7) <u>再出場違反があったとき</u>
16	1-40項	<b>故意四球 INTENTIONAL BASE ON BALLS</b> 【略】 (注1) 通告は投球とみなされ、四球を与えるのに必要な投球数がカウントされる。 【略】	16	1-40項	<b>故意四球 INTENTIONAL BASE ON BALLS</b> 【略】 (注1) <u>通告時、すでに投球した数だけを投球数に加える。</u> 【略】
37	3-5項	<b>マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット</b> (注1) 捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2020年度からはJSA検定マークが入っているものを着用しなければならない。 (注2) 捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2019年度までを猶予期間とし、2020年度からSGマークが入っているものを着用しなければならない。	37	3-5項	<b>マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット</b> (注1) 捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用 <u>しなければならない。</u> (注2) 捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用 <u>しなければならない。</u>
40	3-7項 4.	<b>ユニフォーム</b> 装飾品	40	3-7項 4. (1) (2) 5.	<b>ユニフォーム</b> <u>アンダーシャツ</u> <u>プレイヤーのアンダーシャツは同色でなければならない。すべてのプレイヤーがアンダーシャツを着用することは必須ではないが、一人でもアンダーシャツを着用する場合は、他のプレイヤーは同色のものを使用しなければならない。また、どのプレイヤーも、露出したアンダーシャツの袖がほつれ、擦り切れたり、スリットの入ったものを着用してはならない。</u> <u>アームスリーブ(腕の保護ガード)を着用する場合は、アンダーシャツの着用と同様のルールを適用し、両腕にアンダーシャツと同色のものを着用しなければならない。</u> <u>(注)片腕のみの使用は禁止する</u> 装飾品
53	5-3項 2.	<b>正式の試合</b> 延長試合 7回終了時、同点の場合は、8回からタイブレーカーにより試合を継続する。	53	5-3項 2.	<b>正式の試合</b> 延長試合 7回終了時、同点の場合は、8回から <u>タイブレイク</u> により試合を継続する。
55	6. (注)	没収試合 (注) 没収試合の決定は、大会競技委員長・審判長・および当該審判員が協議して、球審が宣告する。 (得点は7-0となる)	55	6. (注)	没収試合 (注) 没収試合の決定は、大会競技委員長・審判長・および <u>担当</u> 審判員が協議して、球審が宣告する。 (得点は7-0となる)
55	5-6項	<b>タイブレーカー</b>	55	5-6項	<b><u>タイブレイク</u></b>
62	6-5項 2.	<b>異物の使用</b> 【略】	62	6-5項 2. (注)	<b>異物の使用</b> 【略】 (注) <u>アームスリーブは、3-7項4に規定されたアンダーシャツとみなし、両腕に着用し、アンダーシャツと同色であることを条件として着用することができる。</u>
69	7-1項 2.	<b>次打者</b> 次打者は次打者席内で待機しなければならない。なお、一塁側・三塁側どちらかの次打者席で待機してもよい。	69	7-1項 2.	<b>次打者</b> 次打者は次打者席内で待機しなければならない。なお、 <u>安全面を考慮し、打席にいる打者が右打者の場合は三塁側、左打者の場合は一塁側の次打者席で待機しなければならない。</u>
70	7-2項 (効果)2項 (2)	<b>打撃の順序</b> 不正位打者の打撃が完了し、次の打者に対して投球動作に入る前(正・不正にかかわらず)にアピールされたときは～	70	7-2項 (効果)2項 (2)	<b>打撃の順序</b> 不正位打者の打撃が完了し、次の打者に対して投球動作に入る前( <u>正しい投球・不正投球にかかわらず</u> )にアピールされたときは～